

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△	
共同建替え部会	1月 17日(木)
コーポラティブ住宅部会	
団地・マンション再生部会	12月19日(水)
人と暮らし部会	未定
総務部会	
広報部会	1月 8日(火)

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。


☆進行中のプロジェクトニュース☆

・奥澤コーポラティブハウス
建物名称が『けやきガーデン奥沢』に決定しました。12月に完成・引渡し予定。2戸の参加者(入居希望者)の募集を行っています。どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

・九段南コーポラティブハウスⅡ
2戸の参加者募集中。千代田区内でお住まいをお探しの方がおりましたら、事務局までご連絡ください。

△▼△G マンションで建替え決議成立△▼△
1年半前に本紙面で建替え推進決議のご報告をした渋谷区のG マンションで、先日、区分所有法第62条の建替え決議が成立しました。総戸数9戸の小さなマンションで、保留床の戸数も少ないため、なかなかディベロッパーと条件が折り合わず苦勞しましたが、首都圏不燃建築公社が参画してくれることとなり、事業成立の見通しが立ちました。
最初に管理組合の総会に参加させていただいてから丸3年となりましたが、ライフステージも家庭の状況も様々な方が、同時に大きな決断を下さなければならぬマンション建替えの大変さを改めて感じています。来年夏の解体着工に向けて本格的に動きだします。(としまち研理事 宮本愛)

△▼△勉強会開催△▼△
11/26(月)に共同建替えに関する勉強会を開催しました。
テーマ:「富山県射水市での取り組みについて」
講師:丸山 豊 氏(株)まちづくり研究所



講師の丸山さん(写真左)

はじめまして

初めまして、東松島市の現地事務所でお世話になっている阿部久美子です。家族は、夫と高校3年の娘、小学4年の息子です。東松島市で生まれ育ち、ずっとこの町に住んでいます。話すと東北弁まるだしの私ですが、どうぞよろしくお願ひします。
この度、ご縁をいただき、地元復興にご尽力いただける感謝と、私自身の震災の体験も生かし、少しでもお役にたてる様、頑張りたいと思います。



阿部久美子さんと息子の匠くん

祝！ご出産

9月より産休に入った、としまち研事務局の五十嵐敦子さんが、10月10日に女の子を出産されました。長時間に及ぶ出産となり、無事生まれてホッとしているということでした。
名前は、「知世ちゃん」です。元気に育ってね！



にっこり笑顔の知世ちゃん

編集後記
今年のとしまち研事務所内は、師走感が漂っております。羽根木公園の募集が始まり、奥澤の引渡しがあり、東松島の活動をし…。優しい心を持たなければと思ひながら、忙しさのあまりとげとげしくなってしまう自分に日々反省しています。
さて、気付けばとしまち研会報「おいらのまち」を発行し始めて10年、おかげさまで60号目を迎えました。初心忘れるべからず、今後も皆様にとしまち研の情報をいち早くお伝えしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員61人 賛助会員32人
編集発行人 比護彰彦
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第60号

おいらのまち

2012.11

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

移転先のまちづくり整備協議会設立総会開催

11月21日(水)午後7時から東松島市コミュニティセンターホールにおいて、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の設立総会が開催されました。
東松島市では、被災地のどこからでも、市内に7ヶ所ある集団移転先を希望することができるため、東矢本駅北地区にもさまざまな従前居住地から560世帯超の人々が移転してきます。としまち研が、これまで取り組んでいる共同建替えとコーポラティブハウスのプロジェクトのように“既に住む人が決まっている”という住宅地と災害公営住宅づくりになります。



協議会設立総会の様子

設立総会には164名が参加し、東松島市の阿部市長及び同市議会の五野井議長からごあいさつをいただき、参加者紹介、協議会設立総会までの経緯の説明があった後、三浦正信氏を議長に選出して、議事に入りました。協議会規約が承認され、33名の役員が選任されました。役員が選任されたところで、第1回役員会が行われ、会長に小野竹一氏、副会長に雫石浩氏、菅原忠幸氏、菊池久氏の3名、監事に佐藤勝輝氏、狩野史郎氏の2名がそれぞれ選出されました。最後の議題である協議会の平成24年度の事業計画と予算が承認され、無事に協議会がスタートしました。

今後、短期間で協議会会員に意見や希望を出していただき、住宅地や公共施設の基本的なところまで決めていくのは協議会にとって大変な事業です。そのため全世帯を対象としたワークショップを3回、必要に応じて各種専門部会を行い、役員会も月1~2回行う、まちづくり通信も月1回発行するなど、多くの課題が待っています。



会長に選ばれた小野竹一さん

また、被災者の皆さんは、いくつもある仮設住宅あるいは民間アパートなどのみなし仮設住宅にバラバラに暮らしており、交通手段がなく各種の会合に参加できない方も多数おられます。としまち研は、東矢本駅北地区への移転を希望されている全ての皆さんに、移転等に関する具体的なお考えを直接面談して伺うことがどうしても必要と考えています。

としまち研の復興支援の活動と一緒に取り組んでいただける方、大歓迎です。事務局までご連絡ください。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員による、リレー形式のエッセイです。

『エコたわし編み隊』としまち研 大森桃子
昨年3月11日の東日本大震災の後、多くの人々が、「被災地のために何かできることはないか?」と思ひながら、なすすべもなく悶々としていたと思う。私の周りもそうだった。そんな中、手作りグループのみんなで考えたのは、被災地に毛糸を送ってアクリルたわしを編んでもらおうということだった。福島県新地町の仮設住宅では当初「2,3人くらいしか集まらないかもしれない」という反応だった。ところが、何週間かたつと、それまで家に閉じこもっていた女性たちが集まって「エコたわし編み隊」なるものを結成し、手を動かし、口も動かし、そのうち芸術魂に火がついて次々と新しい作品を生み出すようになっていた。お花や野菜の形をしたたわし、「新地の海で再び漁ができるように」という願いをこめた魚のたわしなど、色とりどりのたわしは各地のバザーや学園祭で売られ、とうとう5千個も売れてしまった。今でも毎週の集まりが、みんなの語らいの場になっているらしい。

※次号の『ひとりごと』は小口優子さんです。お楽しみに。

一木会ご報告 (原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です)

★第206回一木会 (2012. 10. 4)

首都大学東京名誉教授の高見澤先生とNP O 法人美しい街住まい倶楽部理事長の佐藤俊一氏に、「復興協議会への支援をめぐる〜いわき市豊間地区の経験から」と題して、お話をいただきました。



東松島市の取り組みも本格化してきた中、ヒントとなるお話を聞き、今後も相互交流を図りながら学ばせてもらいたいと思いました。

★第207回一木会 (2012. 11. 1)

明海大学不動産学部教授で、日本型HOA推進協議会の会長である齊藤広子先生に「日本の住宅地のエリアマネジメントの動向〜のぞみ野の実践を通じて〜」と題して、お話をいただきました。



戸建住宅地での管理組合をどのように作り、運営するのか、先生がプロデュースされた「のぞみ野」の実践例で、わかりやすくお話をいただきました。

被災地での新たなまちづくりにも、活かしていきたいお話でした。

今後の一木会予定

★12月(12月6日)【第208回一木会】★

毎年恒例、古今亭駿菊独演会&忘年会です。忘年会は【予約制】となりますので、12月3日(月)までご連絡ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

★1月(1月10日)【第209回一木会】★ ※1月は第2木曜日の開催です。

宮内篤志さんに講師をお願いしました。詳細についてはお楽しみに!

「こはす」報告～防災体験とチューリップ植栽～

10月20日(土)、間近のスカイツリーに手が届きそうな秋晴れのなか、本所防災館へ行きました。参加者は大人13名・子供6名の計19名。



AEDも使った救命訓練、みんな真剣に取り組みます

体験終了後、神田に戻り、居住者ご紹介のお店(ほぼ貸切)で懇親会を開催しました。4月の入居パーティ以来でしたが、近況やこはすでの暮らしぶりなど話は尽きることなく、あっという間に時間が過ぎました。



何色が咲くかな?春が楽しみです

「3.11」の記憶を甦らせる映像でその被害の大きさを再認識し、地震時の避難の際は火の元の確認を忘れずすることや、煙の中では低姿勢で壁伝いに、そして必ず階下へ避難するなど、落ち着いた対応が肝心であることを、大人も子供も再確認しました。最後はAEDを使っての救命訓練です。実際に器具を手にしてみると手順も装着する場所も分かりやすく書いてあり、素人にも扱えることが分かって安心しました。

体験終了後、神田に戻り、居住者ご紹介のお店(ほぼ貸切)で懇親会を開催しました。4月の入居パーティ以来でしたが、近況やこはすでの暮らしぶりなど話は尽きることなく、あっという間に時間が過ぎました。それから3週間後の11月11日(日)、「こはす」前の花壇にチューリップの球根を植えることにしました。あいにくの曇り空でしたが、元気な子供たちが活躍し、たくさんの球根を植えてくれました。植えた球根の位置の前には子どもたちの名前札が刺してあります。春の開花が楽しみです。機会あるごとに皆さんと関わらせていただくにつれ、なんだか家族が増えたような、子供も増えたような、得した気持ちになります。春に咲いてくれる花ばかりでなく、いろいろなことがこれからも楽しみです。

(こはす管理組合 取出美佐子)



本所防災館で体験ツアー



みんなでふかふかの土づくり

(仮称) コーポラティブハウス羽根木公園 参加者募集中!

世田谷区松原で新たなコーポラティブハウスの募集を開始いたしました。計画地は、静かな住宅街ですが、京王井の頭線「東松原」駅より徒歩4分、小田急線「梅ヶ丘」駅より徒歩8分で、両駅とも周辺に商店街があり、日常の買い物にも便利です。また、計画地から歩いて2分のところに区立羽根木公園(野球場やプレイパーク、図書館、梅園などあり)、公共・医療・福祉施設なども徒歩圏内に集中している地域です。



計画建物の完成予想模型

11月10日(土)から、現地の元バリエスタジオで計4回の説明会を開催しました。

皆さんと一緒に屋上からの眺めを確認したり、模型や実績写真などを囲みながら話すなど、とても和やかな雰囲気で行われました。

現在、個別説明・相談会を行っています(事前申込制)。世田谷区周辺でお住まいを探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

(としまち研事務局 関 真弓)



建物の模型を前に設計者へ質問

「アトラス駒沢大学」(野沢四丁目共同建替え)まもなく竣工

世田谷区野沢四丁目でお手伝いしてきた共同建替え事業が、まもなく竣工を迎えます。野沢四丁目は、地権者14名と旭化成不動産レジデンスによる共同事業で、古い長屋や木造家屋が密集した地区を14階建て計55戸のマンションに建替える事業です。従前地権者のうち7名の方は新しいマンションに再入居し、1階には建替え前からテラーを営んでいた方の店舗が再開します。

総合設計制度や優良建築物等整備事業を活用したので、少し手間はかかりましたが、関係者の協力で、順調に進められることができました。

先日、補助金検査の立会いで一足早く内部を拝見しましたが、最新設備を備えた今どきのマンションです。地権者の皆さんは、最初は戸惑うかもしれませんが、同じマンション内に昔から見知ったご近所さんがいますので、互いに行き来する関係を続けながら、新しい暮らしに馴染んで下さるといいなと思います。



完成したアトラス駒沢大学

(としまち研理事 宮本愛)

ホームページをリニューアルしました

昨年、広報部会を中心に検討してきたホームページの全面改装ですが、11月2日(金)に無事にリニューアルすることができました。

情報更新がリアルタイムにできていないこと、コーポラティブハウスの参加者募集の際にホームページが有効に活用できていないことを反省し、部会ごとの検討をしていましたが、なかなか煮詰まらず、今回の大々的なリニューアルを決意、(有)マウスの菅沼真理さんに作業をお願いしました。

コーポラティブハウスの参加者募集をする上で、今や欠かせないツールとなったホームページ。今回、「いかにコーポラティブハウスに興味を持ってくださった方に目につきやすいホームページにするか」ということがもっとも大きな課題でした。初めてホームページを訪れた人にもできるだけ見やすく、欲しい情報を入手しやすいページ構成となるように工夫したつもりです。お時間のある時にぜひ一度としまち研ホームページをご覧ください。



新しいHPのトップ画面

(としまち研事務局 飛澤玲奈)